



# ネイチャーセンターだより

2025年1・2月号

## 新・いきもの図鑑



## ハシブトガラ (嘴太雀)

白い頬とおなかに、ベレー帽をかぶったような黒い頭が特徴の林にすむ小鳥です。日本では北海道にのみ生息していますが、道内にはよく似たコガラという鳥も生息しています。2種の形態的違いについてはいくつか研究がされており、複数ポイントをj確認することで野外でもある程度識別可能とされています。本種はその名の通り、コガラよりくちばしがやや太短いのが特徴です。会合線（上下のくちばしの間）が白っぽく見える点や、頭の黒色部に光沢がある点、尾羽が角張って見える点もポイントです。比較的新しい研究では、野外での識別には向きませんが、本種の後趾（後ろ向きの趾）爪はコガラより短いことがわかっています。

主な食べ物は、春夏は昆虫やくモ、秋冬は植物の種子などです。食べ物を貯える習性も知られており、冬には、秋に木の隙間などに隠した草木の種子などを食べます。

【参考文献】  
 安部他. 1976. ハシブトガラとコガラの形態上の相異について. 山階鳥類研究所研究報告 8巻 2号.  
 河井大輔他. 2004. 北海道野鳥図鑑. 亜環西社.  
 今野他. 2018. 北海道産ハシブトガラ *Poecile palustris* とコガラ *P. montanus* の脚の差異—一両種の識別点としての後趾爪の有効性—. 鳥類標識誌 30:14-23.  
 中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>. 保育社.

## 祝・北海道社会貢献賞 受賞

# NEWS

ネイチャーセンター施設ボランティアグループの『スंक』が令和6年度北海道社会貢献賞（緑を守り親しむ功労者）を受賞しました。スंकは2000年に、東梅地区及び風蓮湖周辺の自然環境について自ら学び守り、そして多くの人に自然環境保全の大切さや素晴らしさを伝えることを目的に設立されました。樹木をはじめ、多様な動植物が生命活動を営んでいる春国岱とその周辺の自然の魅力を訪客に伝えるための環境教育イベントを開催したり、ネイチャーセンターに隣接する東梅自然学習林をフィールドに、巣箱や樹名板の設置・補修、エゾシカによる食害を防止するためのシカ柵の設置や樹皮剥ぎ防止対策などに取り組んできました。このような森林に親しむ活動に長年尽力してきたことが今回の受賞につながりました。表彰式では、これまでに関わってくださった方々を代表して菊地亮太代表が賞状と記念品を受け取りました。



◀ 賞状を受け取る代表（左）と、表彰式に出席したスंकメンバー（右）

# 見どころMAP

★冬期の木道除雪は行っておりません。足元に注意してご利用ください。  
★危険ですので、氷の上には乗らないでください。



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 1・2月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
  - ちょっと気をつければ見られる
  - + よーく気をつければ見られる
  - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	上空で飛翔する様子や、風蓮湖の結氷部分、春国岱の立木や海岸で休む様子が観察できます。2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃です。
オオワシ	○	
タンチョウ	・	湿原や風蓮湖が結氷すると釧路で越冬するため、春国岱で目にする機会は少ないです。例年、2月下旬ごろになると春国岱に戻ってきます。
オオハクチョウ	○	根室では、ほとんどが南へ渡っていきますが、少数は風蓮湖や根室湾の凍っていない水面の周りで見られます。
カモ類	○	ホオジロガモやウミアイサが風蓮湖や海上で観察できます。沖では、クロガモの群れやビロードキンクロ、コオリガモが見られることもあります。
カモメ類	○	オオセグロカモメやシロカモメが風蓮湖や海上で見られ、カモメ、ワシカモメが見られることもあります。
春国岱	野鳥	ヒバリコース海側の草原でハギマシコの群れが、風蓮湖や湿原の周辺でハマシギが見られることがあります。2月にはアカエゾマツコースでヒガラのさえずりが聞こえるようになります。
	けもの	エゾシカがよく見られ、まれにキタキツネが見られます。
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、カケス、シマエナガ、キクイタダキなどが見られます。
	けもの	エゾシカがよく見られ、まれにエゾリスが見られることがあります。積雪時はいろいろな動物の足跡が見られます。

# ユキホオジロ しゅん くに たい 春国岱で3年ぶりの記録



ユキホオジロは、主に北海道に渡来する冬鳥で、大きさはスズメほど。白い体は雪原がよく似合い、オレンジ色をした頬と黒いつぶらな瞳、そして様々に見せるしぐさは、シマエナガに負けず劣らずなかわいさです。しかし、渡来数は多くなく、生息場所が寒風吹きすさぶ海沿いの草原という過酷な条件のため、簡単に見られる野鳥ではありません。春国岱では、近年増加したエゾシカがユキホオジロの好物であるハマニンニクをせっせと食べてしまってることもあって、さらに観察できる機会が減っている種類ではないかと思えます。

前回の観察は2021年12月に春国岱の先端部で確認されたレンジャーによる記録でした。さらにその前の記録をたどってみると2016年11月から2017年2月にかけて、この年、多い時には50羽を観察した日もあるユキホオジロの当たり年でした。今回は、2024年11月28日、ヒバリコースとハマナスコースの境付近（木橋に近いシカ柵よりやや先端寄り）で3羽がハシボソガラスに驚いて飛びたち、気づくことができました。そのうちの1羽がそばの波消しブロックにとまりました。はじめはブロックの上の方に止まっていたのですが、カラスが真上を飛ぶと、ブロックの斜面を短い足でチョコチョコと歩いて身を隠すような行動をしていました。

出会うことがなかなか難しいユキホオジロですが、今シーズン春国岱で出会うチャンスがまたあるかもしれません。観察には万全の防寒対策をして、無理のない行動をお願いします。



## 春国岱クイズ

冬の間は枯れ草ばかりの東梅自然学習林ですが、水辺に近い地面から、先のとがった鮮やかな緑色のものがいくつも生えているのを見つけました。これは、春に目立つある植物の芽なのですが、それは次のうちのどの植物でしょう？

- ①夏には大きいもので2m以上もの高さになる、ヨブスマソウ
- ②春早いうちに花を咲かせる、ミズバショウ
- ③人間も大好き、タケノコ



答えはウラのページ

## 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

【問合せ・申込先】  
春国岱ネイチャーセンター  
電話：0153-25-3047  
Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

### ◆1/11～野鳥図鑑画家 谷口高司 作品展『空でつながるサンクチュアリ』

公益財団法人日本野鳥の会創設 90 周年を記念して、全国のサンクチュアリと関連する野鳥作品などを展示します。野鳥たちは空でつながっています。皆さまも作品展でさまざまな野鳥に出会い、実際に出かけてみるはいかがですか？

- ◇会期：2025年1月11日(土)～2月11日(火) 開館中、自由にご覧いただけます。 ※毎週水曜日、1/14は休館日。
- ◇場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階
- ◇主催：ねむろバードランドフェスティバル実行委員会

### ◆スノーシューでこたりのこみちさんぽ

スノーシューをはいて、ネイチャーセンターのとなりの自然学習林でいろいろな生きものや生きものが残っていたあとを探します。スノーシューは無料で貸し出します。

- ◇日時：2025年2月11日(火・祝)10:00～12:00 ※荒天時は2月24日(月・振休)に順延
- ◇集合・解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴) ◇参加費：1人200円 ◇定員：15名(先着順)
- ◇服装・持ち物：外で活動できるあたたかい服装・長ぐつ、帽子、手袋、あたたかい飲みもの
- ◇申込締切：2月9日(日)16時



### ◆3/8 ネイチャー講座「春国岱とフレシマ湿原から見る根室の湿原今昔」

オホーツク海側と太平洋側、二つの自然環境があるのは、近隣の霧多布湿原や野付半島にはない、根室ならではの自然の特徴です。ラムサール条約湿地である風蓮湖・春国岱と、半島を挟んで太平洋側にあり、昨年10月にNHK『さわやか自然百景』でも紹介された「フレシマ(ホロニタイ)湿原」を比べながら、昔の写真も用いて、それぞれの湿地の変遷をたどります。

- ◇日時：2025年3月8日(土)13:30～15:00 ◇場所：春国岱ネイチャーセンター2階
- ◇対象：どなたでも ◇参加費：無料 ◇定員：30名(先着順)
- ◇持ち物：筆記用具 ◇申込締切：3月6日(木)16時

募集中!

### ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放しにすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



クイズのこたえ 答②。春、他の植物よりも一足早く水辺で花を咲かせるミズバショウは、晩秋に芽を出し、そのまま冬を越します。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570  
Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp



HP [https://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

- ◆開館時間 9:00～16:30
- ◆休館日：1月1～3・8・14・15・22・29日  
2月5・12・13・19・25・26日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制・2週間前までにご連絡ください)  
自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報を発信しています!



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録